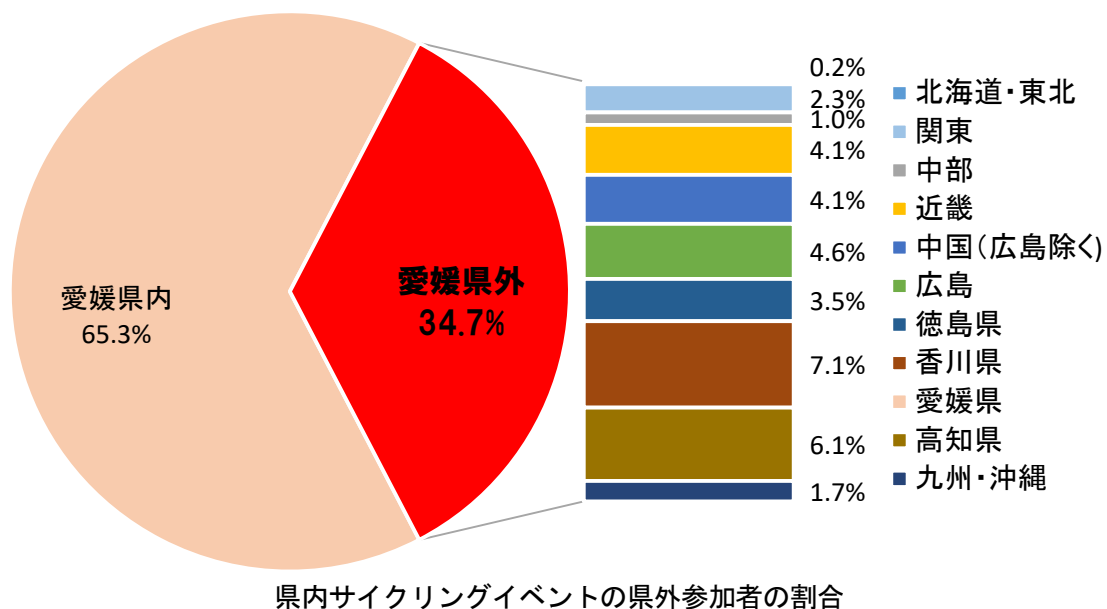


◆目標2 交流人口の拡大による地域活性化

◇実施すべき施策

- (1) ブランド力の向上と魅力発信
- (2) 受入環境・おもてなし態勢の整備
- (3) 公共交通機関と連携した二次交通等の充実
- (4) おもてなし人材の育成
- (5) サイクリングアイランド四国の実現をはじめとする広域連携の推進

成果指標	現況値	目標値 (2022年度)
① しまなみ海道(今治市)におけるレンタサイクル利用者数	66,732 件(2017年度)	73,000 件
② 県内サイクリングイベントの県外参加者の割合	34.7% (2018年)	50%



2- (1) ブランド力の向上と魅力発信

しまなみ海道を「サイクリストの聖地」として、国内外での認知度を一層高めるため、国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」の定期的な開催や、路肩の拡幅など、自転車走行環境の整備、宿泊や休憩施設等のおもてなし態勢の質の向上に取り組むとともに、県内誘客へのきっかけとなるよう、しまなみエリア内の観光コンテンツの磨き上げを図る。

また、しまなみ海道を起点に、西日本最高峰の石鎚山や日本一細長い佐田岬半島など風光明媚な自然や魅力ある地域資源の認知度向上につなげるため、E-BIKEの活用や自転車以外のアクティビティと組み合わせることによって、新しいツーリズムのスタイルを提案するほか、デジタルマーケティングを活用し、ターゲット層に直接情報を伝達し、来県を誘導するなど、積極的なプロモーション活動を展開することにより、国内外からの更なる誘客を目指す。

さらに、四国一周サイクリングルートについては、四国4県でNCRの指定を目指す

すとともに、しまなみ海道においては、これまでの10年にわたる官民挙げた取り組みにより、NCRの第1次指定をはじめ、「サイクリストの聖地」としての地位を確立しており、今後、日本のサイクルツーリズムの牽引役として発展させるため、10年後（2030年度）のビジョン「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」の実現に向けて、地元自治体や民間事業者等の関係者と連携して、これまで以上に走行環境や受入環境、積極的なプロモーション活動等を展開する。



図7 サイクリングしまなみ2018



図8 四国一周サイクリングホームページ

2-（2）受入環境・おもてなし態勢の整備

本県を訪れた方に安全・快適なサイクリングを楽しんでもらうため、サイクルオア

シス・サイクルレスキューの拡充や宿泊施設における自転車の屋内保管などサイクリスト向けサービスの充実のほか、増加する外国人サイクリストの受け入れのため、各種案内の多言語対応の充実・強化や主要なサイクリングルート内の休憩スポットにおけるW i - F i 環境の整備等を進める。

また、サイクリストの需要に応じ、広域的な利用が可能となるレンタサイクルの事業者間連携に向けた取組みの検討を進めるほか、都市部や町並み観光などに取組む市町でのシェアサイクルやE-B I K Eの普及を促進するなど、本県を訪れた人が気軽に自転車を利用できる環境を整備する。

その他、民間事業者等と連携し、道の駅等のサイクリング拠点化によるサイクリスト向けサービスや情報提供、手荷物配送サービスの拡充などおもてなし態勢の整備を図る。



図9 サイクルオアシス



図10 宿泊施設への自転車持ち込み

2－（3）公共交通機関と連携した二次交通等の充実

県内における二次交通ネットワークの構築を図るため、鉄道事業者と連携し、自転車を持ち込んで移動できるサイクルレインの拡充や旅行商品との組み合わせなどによる利用環境の向上を図るとともに、サイクルバスやサイクルタクシー等の拡大を働きかけ、サイクリストの利便性の向上を図る。

また、県外からのアクセスを向上させるため、交通事業者等との連携により、サイクリストにやさしい施策の実施や、新たな旅行商品の造成に取組み、四国はもとより、瀬戸内圏域におけるサイクリングの拠点化を目指す。



図 11 サイクルトレインしまなみ号

2－（4）おもてなし人材の育成

自転車での観光案内はもとより、特に交通ルールが異なる海外からのサイクリストに対し、サイクリング中の安全の確保やトラブル対応ができるサイクリングガイドを養成し、まずは、しまなみ海道エリアを中心に、ガイドを活用した旅行商品造成に向け、国内外の旅行会社等への働きかけを強化するなど、サイクリングガイドの定着を図るとともに、恒常的なサイクリングガイド活用のための体制を構築する。

また、サイクルオアシスやサイクルレスキューなど、自転車に携わる人材の育成に取り組むほか、サイクリング環境の向上に繋がるサービスを提供する多様な事業者の参入を促進させる。



図12 サイクリングガイド養成講座

2-（5）サイクリングアイランド四国の実現をはじめとする広域連携の推進

豊かな自然や食に恵まれた遍路文化が根付く四国の新たな魅力として「サイクリングアイランド四国」を実現するため、四国4県や国・民間企業等との連携を強化し、ナショナルサイクルートの指定も視野に入れ、四国一周サイクリングルートの環境整備や受入体制の充実のほか、自転車安全利用の啓発やプロモーション活動を展開する。

また、四国一周サイクリングルートと各県が有する地域のサイクリングルートを連動させ、E-BIKE等を活用した裾野拡大にも取組みながら、四国を世界に誇れるサイクリングアイランドに育てあげる。

さらに、近隣県と連携することにより、九州・中国地方を含む瀬戸内圏域の広域でのサイクリングエリアの構築を目指す。



図13 四国一周サイクリング（若者応援プロジェクト）